



行幸小だより

瀬戸内市立行幸小学校
令和6年5月31日
第462号

学校教育目標：「豊かな心を持ち、自ら学び、共に高め合うたくましい子どもを育てる」

目指す児童像：**知**「表現する子ども」**徳**「人を大切にする子ども」**体**「やりぬく子ども」

全力で表現した運動会

5月19日（日）に開催された運動会は、多くの保護者の皆様、地域の皆様に参観していただきありがとうございました。

「光りかがやけ行幸小！力を合わせて楽しさあふれる運動会」をスローガンに子どもたちは全力の演技を見せてくれました。2週間の短い練習期間にも関わらず1年生から6年生まで見応えのある内容で、思い出に残る運動会となりました。

保護者の皆様、地域の皆様、子どもたちの頑張りに応えるようなたくさんの温かい拍手や声援をありがとうございました。



「大丈夫、何とかなる」

これはいつも前向きで自己肯定感の高い人の口ぐせだそうです。力や勇気をもらえる言葉で、例えば我が子がとても落ち込んでいる時、「大丈夫、大丈夫、なんとかなる。」と声をかけると子どもは安心し、落ち着きます。しなければいけないことが多すぎて自分がともしんどいときには、自分に向かって「大丈夫、何とかする。」と声をかけると少しやる気が出てきます。脳科学によると人はピンチの状態の時、かける言葉によって気分が大きく変わるそうです。「無理だ」「もうだめ」といったネガティブな言葉はマイナスの思考につながり、ポジティブな声かけは前向きな思考につながります。そして、これが次の行動への原動力になるそうです。5月病といって心も体も疲れがたまる時期です。大きな行事が終わったあとはふっと目的がなくなり心に隙間ができます。子どもの元気がなくなったらしっかり話を聞いてください。そして「大丈夫。なんとかなるから。」と励ましてください。

地域ボランティアの皆様 今年度もよろしくお祈いします

毎朝、地域のボランティアの方が安全な登下校の見守りに協力してくださっています。あいさつ運動では保護者の方をはじめ民生委員の皆さん、お菓子の大町の方、ブルー・シャインズの選手の皆さんの参加もあり、朝の校門が活気にあふれています。

また、学校園を何日もかけて耕し、夏野菜を植える手伝いをしてくださった野菜名人さん、花壇を美しく保ってくださるボランティアの皆さん、玄関の生け花や式典会場の式花を生けてくださるボランティアの皆さん、毎年カブトムシの幼虫をくださる方、朝の読み聞かせボランティアの皆さん。今年度はコミュニティ・スクールの導入ということで、交通安全教室への参加や家庭科の調理実習・ミシンの指導などにも協力していただく予定です。このように行幸小の子どもたちは地域の皆さんの温かい善意に支えられながら学校生活を送っています。今年度もどうぞよろしくお祈いします。



(文責：校長 大嶋)